

好きです
わたしの
すかがわ

須賀川 事典

ENCYCLOPEDIA
SUKAGAWA
GIYU
じすてか
んが
わ

編へん
撮と
特とく



福島県のほぼ中央に位置する須賀川市。
街の中心を阿武隈川と釈迦堂川がゆったりと流れ、
西に那須連峰、東に阿武隈高地の山並みを望む
街並みが広がります。

時の流れの中で街は姿を変えていきます。
長年住み慣れた街にも、気が付かなかった風景や
はっとするような魅力が、
大空でまたたく星のようにちりばめられています。

この冊子は、今まで見過ごしていた街の歴史や
気づいていなかった豊かな営みなど、
きらきらした魅力を放つ、
須賀川のがやく「星」を拾い集めた「事典」です。

本冊子を通して、私たちのふるさとの魅力が
みなさんに届きますよう、願いを込めて作りました。
読み終わったとき、あなたの目の前に広がる
須賀川の「星」を誰かに伝えたくなるはずですよ。
今回は「特撮編」

「特撮」という世界に誇る日本文化の
生みの親「田谷英二」のふるさとである須賀川市。
「特撮」という文化を通じた
須賀川の魅力と未来を、
多くの方たちに伝えてください。

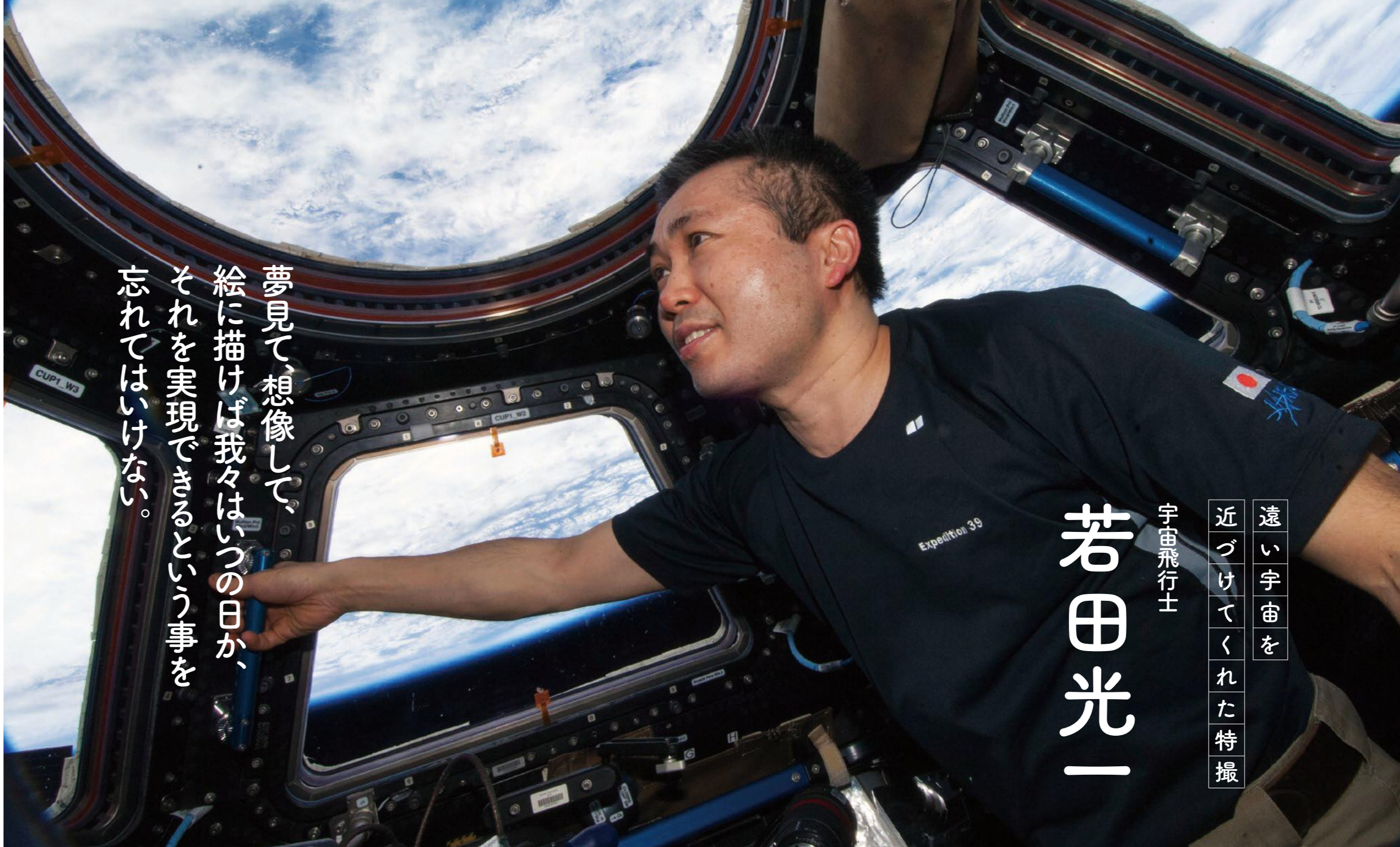


わかた・こういち

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 特別参与・宇宙飛行士
1963年埼玉県生まれ。九州大学大学院工学府航空宇宙工学専攻博士課程修了。博士(工学)。合計4回の宇宙飛行における総宇宙滞在時間は347日8時間33分。2013～2014年の国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在の後半で、日本人として初めてISS コマンダー (船長) を担当。現在2022年頃のISS長期滞在に向けた訓練業務と共に、特別参与任務を継続中。



©JAXA



©JAXA/NASA

夢見て、想像して、
絵に描けば我々はいつの日か、
それを実現できるといふ事を
忘れてはいけない。

遠い宇宙を
近づけてくれた特撮

若田光一

宇宙飛行士

特撮は日本が
世界に誇る文化のひとつ

アポロ11号が月面着陸をしたとき、5歳の私を感じた宇宙飛行への憧れは宇宙を目指すきっかけになったと思います。しかし当時は、旧ソ連やアメリカしか有人宇宙活動を行っていなかったため、日本人の私にとっては実現することができない夢のような世界でした。

そんな夢に自分を含め、少女少女が触れることができ、宇宙への興味を強く印象づけてくれたのが、ウルトラマンシリーズといった宇宙を描いた特撮でした。

中でも『ウルトラセブン』は、遠い宇宙から侵略者として地球にやってきた怪獣をウルトラセブンがやっつけるというシンプルな勧善懲悪の物語ではなかったことが記憶に残っています。人類が栄える前から地球に暮らしていた知的生命体の「ノンマルト」や、兵器の実験対象として住んでいた星を人間に破壊されてしまった「ギエロン星獣」など、簡単に「悪い」と決めつけられない怪獣等が登場する物語もたくさんありました。『悪い怪獣と正義の味方』とは違う、決して単純ではない関係性を描いた物語は、「この美し

い惑星の住人として、何を考えて生きていかなければいけないのか?と、幼心にも感じさせてくれ、それは今の仕事につながっていると感じます。

また特撮やSF作品の中に登場した宇宙ステーションやメカは、その後の科学技術の発展をもとに実現されたものが数え切れないほどあります。そう考えると、長い人類の歴史の中で物事を形にする源には想像力があつたのだと思います。有人宇宙活動では安全が最優先され、信頼性の高い技術を飛躍的に進歩させることが難しい分野でもあります。でも、想像することがいかに大切であるかは、日々の仕事をする中でも感じています。特撮というのは、アニメーションと同様に日本が世界に誇る文化のひとつ。その偉業を次の世代に伝えていくということは、新しい科学技術の創造にチャレンジする気持ちを若い人たちに伝えていくことであり、我々がより豊かで平和な世界を築くことにもつながっていくと思います。

須賀川市の皆さんが特撮に親しみ、その素晴らしさを日本に、そして世界に向けて発信してくれることを願っています。これから次のミッションに向けた訓練が海外で始まりますが、近い将来、須賀川特撮アーカイブセンターを訪ねることを楽しみにしています。

「ものごと」を 保存して 未来に伝える

宮内庁正倉院事務所長

西川明彦

「特撮文化の正倉院」となることを目指し、
2020年11月にオープンした
須賀川特撮アーカイブセンター。
世界初の特撮文化継承施設として
今後、取り組むべきことは何か？
正倉院を管理する正倉院事務所長
西川明彦さんにお話を伺いました。



日本史などの授業で、誰もが一度はその名前を聞いたことがある正倉院。間口約33m、奥行約9.4m、床下約2.7m、総高約14mという大きさは、物を保管する“倉”というよりも、もはや一つの建築物に近いスケール。宝物の目録として残っているのが「国家珍宝帳」(写真中段左)など全5通からなる「東大寺献物帳」。奉納する目的にはじまり、宝物の来歴や用いられた技法などが記されており、アーカイブの基本である保存する物に関する情報のリスト化が古来より行われていたことが分かります。



須賀川が特撮を伝えていく
その先にあるもの

尾上 正倉院事務所で管理している宝物は年1回は点検されていると聞きましたが、西川さんは9000件の宝物全部を見られている？

西川 正倉院に30年以上勤めているので、おそらく全部を見てきたとは思いますが、何せ数が多いので…。宝物と言うと中国やペルシャから渡来した豪華絢爛なものをイメージされがちですが、中には竹のザルが550枚ほどあったりもするんですよ。

尾上 ザルが宝物に？ それも1000年以上前の物なのですか？

西川 そうです。東大寺の法要での散華(蓮の花びらの形をした紙をまき散らす法要)に使われたもので「花籠」という名前と実際に使われた日付の記録も残っています。正倉院で保管されている宝物の大半は貴金属ではなく有機物なのでもろく、そのままの形で保存するというのが非常に難しい。樹脂加工を施して形だけでも残すという方法もあるのですが「後世の人間がどこまで手を加えるべきなのか？」といった問題に直面していたりもします。

樋口 須賀川特撮アーカイブセンター

で保存しているものも、そのままと朽ちていってしまうのですが修復をやるかどうか、色々な意見が出ていて。「作られた当時の状態に戻すのが、当時に伝える一番の方法」と言う人もいれば…。

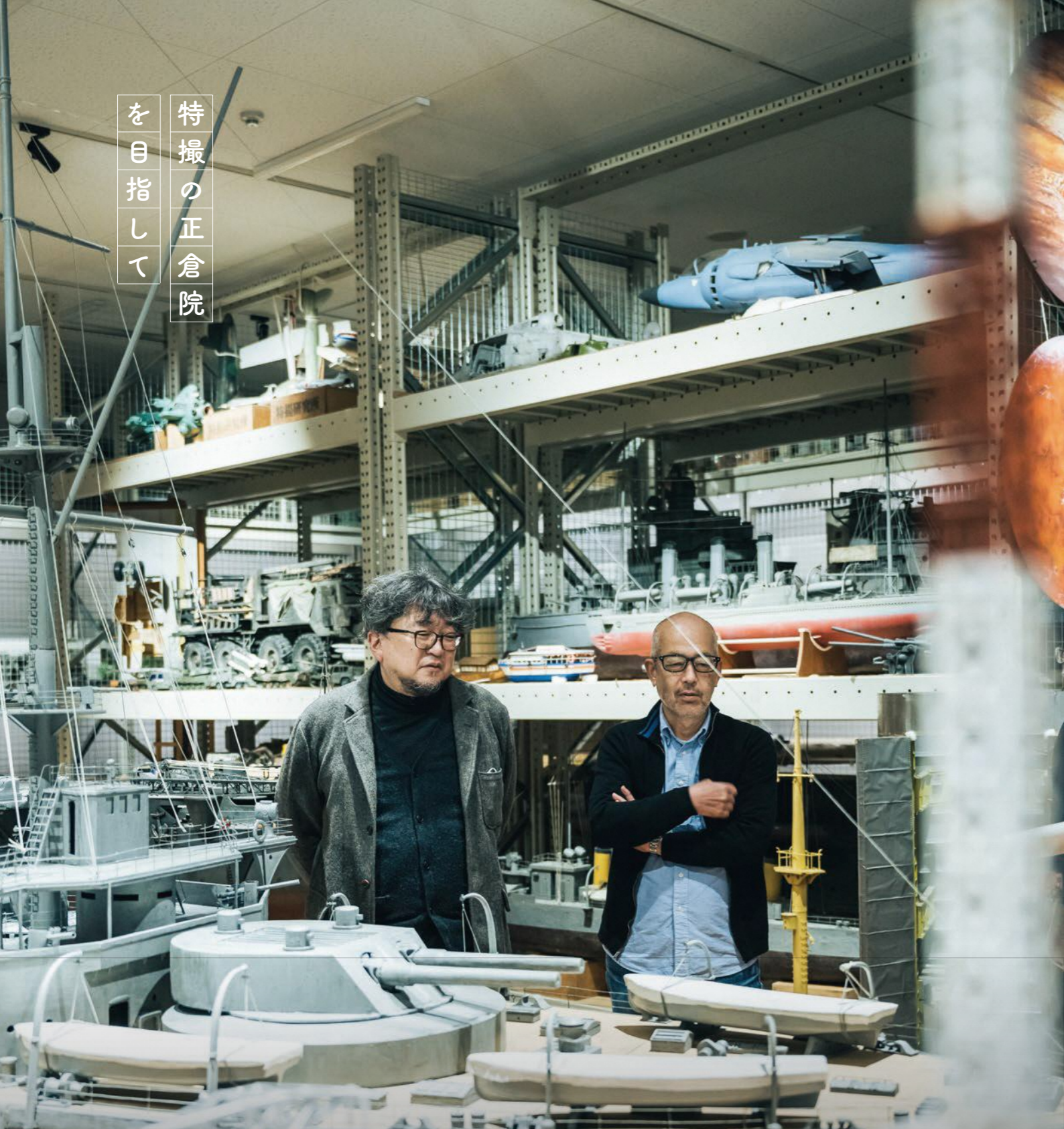
尾上 「撮影に使われた状態そのままでない、価値がなくなってしまう」と言う人もいます。

西川 私も「今の状態を少しだけ残して、大部分を新しく作り替えた場合、オリジナルの宝物と同じだと言えるのか？」と似たような悩みを抱えている状態です。ただ、古から価値があるのは違うような気がします。正倉院事務所では本来の姿を再現した模造品を制作しているのですが、この模造品については、回転寿司にたとえて説明をしています。

樋口 回転寿司？

西川 子どもの好きな食べ物といえば、私たちの時代だったらハンバーグとかでしたが、今の子どもはお寿司と言う子が増えた。でもそれは高級寿司店で出されるお寿司ではなく、回転寿司といった身近なお寿司なんですよね。**樋口** でも回転寿司のおかげで、寿司がなんたるものかは、子どもにも知られるようになったと。

特撮の正倉院
を目指して



西川 模造品であっても存在を広く知ってもらえる効果は大きいので、正倉院宝物という文化財への関心を集めることにつながるのではないかと考えています。

尾上 存在と価値を広く知られていないと守ってもらえないというのはありますよね。僕たちも保存しているものの価値をどう伝えるかに苦労しています。

西川 『ものごと』という言葉がありますが、我々は文化財である『もの(物)』だけでなく、たとえば宗教行事といった『行ない(イベント)』つまり『こと(事)』の両方を残すからこそ価値を知ってもらえると考えていて、尾上 『こと』という背景があって、初めて『もの』に価値が生まれるということですよ。

西川 そうです、『もの』と『こと』の両方を残すのが究極の保存ではないかと。アーカイブという言葉には『保全して伝え、未来の社会に生かす』という意味がありますが、その点では正倉院と須賀川特撮アーカイブセンターが行っていることは同じだと思います。ただ特撮作品を見て育った僕らにしてみれば、映像作品こそが『本物』だと感じられるので、収蔵物と一緒に

『物』と『事』の 両方を残すのが 究極の保存ではないか

作品の映像を流すなど『もの』と『こと』を結ぶ筋道を作る必要はあるかもしれないですね。文化財とは、その時代を生きた人たちの想いや記憶で作られるので、須賀川特撮アーカイブセンターが訪れる人の記憶を引き出し、忘れていた時空に行ける場所になることを期待しています。



にしかわ・あきひこ

宮内庁正倉院事務所長。専門は工芸学で京都市立芸術大学大学院美術研究科修了ののち博士(美術)を取得。1988年に宮内庁正倉院事務所に入所、保存課の研究員として正倉院宝物の保存および調査研究に従事。整理室長、調査室長、保存科学室長、保存課長を経て2017年より現職を務める。

東大寺を創建した聖武天皇の遺愛品を中心に約9000件の宝物が保管されていた、奈良時代に建立された東大寺の倉庫。宝物を収蔵してきた正倉は1997年に国宝に指定され、翌年には「古都奈良の文化財」の一部として世界遺産に登録されている。



おのうえ・かつろう

1960年生まれ、鹿児島県出身。株式会社特撮研究所専務取締役。大阪芸術大学客員教授。日本映画大学特任教授。特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構(ATAC)発起人。美術、装飾、特殊効果、操演係などを経験した後、1994年TVシリーズ『ブルースワット』で特撮監督に就任。『シン・ゴジラ』准監督・特技統括をはじめ、『陰陽師』、『のぼうの城』、実写版『進撃の巨人』、NHK大河ドラマ『いだてん〜東京オリムピック噺〜』などを手掛ける。『円谷英二ミュージアム』総合監修。

特撮監督・VFXスーパーバイザー
尾上克郎

映画監督・特技監督
樋口真嗣

ひぐち・しんじ

1965年生まれ、東京都出身。特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構(ATAC)副理事長。1984年『ゴジラ』にて映画界入り。1995年『カメラ 大怪獣空中決戦』で特技監督を務め、第19回日本アカデミー賞特別賞を受賞。他に、『新世紀エヴァンゲリオン』シリーズなど数多くのヒット映画作品に画コンテやイメージボードとして参加。主な監督作品は『ローレライ』、『日本沈没』、『のぼうの城』、実写版『進撃の巨人』など。2016年公開の『シン・ゴジラ』では監督と特技監督を務め、第40回日本アカデミー賞最優秀作品賞と最優秀監督賞を受賞。

ひかりの街を二人の監督がそぞろあるき

須賀川散策記



須賀川特撮アーカイブセンターの開館や大河ドラマ『いだてん』の撮影にあり、これまで何度も須賀川市を訪れている樋口真嗣監督と尾上克郎監督。そんなお二人が、街を巡るうえでおすすめのスポットをご紹介します。

01 円谷監督の人生の軌跡をたどる

〔つばらやえいじみゅーじあむ〕

円谷英二 ミュージアム

特殊撮影技術の第一人者であり数々の傑作を生んだ円谷英二監督の人生や特撮の魅力を発信する文化施設。総合監修をつとめた尾上監督がまず見て欲しいというのが、円谷監督の人生の軌跡をたどることのできる「円谷英二クロニクルボックス」。「円谷さんは、特撮の神様」と言われていますが、最初から特撮作品を撮っていたわけではなく、カメラマンとして映画の世界に入り、戦争映画を経て、特撮の神様になるまでの変遷を知ると、彼の作品をより楽しめると思うんですよ。それと撮影の様子をミニチュアジオラマで再現した『特撮スタジオ』で特撮の基本に触れたいので須賀川特撮アーカイブセンターに行くと、色々なことを深く理解できるんじゃないかな。また「空想生物学」や「特撮世界と環境学」など6つの分野をテーマに模型や関連書籍が並ぶ「空想アトリエ」は、知的好奇心を刺激する名著から稀少本まで揃っており、「展示物に目がいきがちだけど、実は図書館としても素晴らしいんです」。特撮をきっかけに、さまざまな物事への興味や次々と湧き出してくる場所なので、どうか時間にも余裕をもたうえて来館を。

◎施設情報

福島県須賀川市中町4-1-1
須賀川市民交流センター 1階 5F
電話 024817314407



© TOHO CO., LTD.

02 両監督が太鼓判を押す再現度

〔たいまつどおりのもにゅめんと〕

松明通りの モニュメント

JR須賀川駅前広場や市役所の（光の広場）など、街のあちこちでウルトラヒーローや怪獣たちのモニュメントを目にするのができる須賀川。その中でも監督たちが「造りが撮影当時の忠実」というのが中心市街地の松明通りに設置されたモニュメント。「友好珍獣ビッグモンはバス停のベンチにいたんだけど、バスを待っている人が並んで座っていたりもする。こんな景色を見られるのは須賀川だけじゃないかな」と尾上監督、また樋口監督いわく「見逃されがちなのが、シルエットが描かれている街路灯」。歩道側と車道側で絵柄が異なるうえ、中には通好みの怪獣もいるのがポイント。散策時には車などにお気を付けのうえ、お気に入りの一体を見つけてみてください。



◎円谷プロ



03 須賀川がモンマルトルに!

〔ぶらんじゅりーまるじゅー(まるじゅうせいばん)〕

ブランジエリー マルジュー (丸十製パン)



戦後でもない頃に東京で修業をした初代店長が開店して以来、須賀川で愛され続けているパン屋さん。天然米酵母を使用し、日本人の味覚にあうように焼き上げられたパンは人気が高く、特撮美術監督の三池敏夫さんもファンなのだそう。人気商品のひとつが「コーヒート合わせればパリにいいような気分を味わえますよ」と3代目店長が自信を持っておすすめするクロワッサン。そのサクサクとした歯ざわりとおいしさに「須賀川がモンマルトルに!」これはお土産に買って帰らないと!と監督たちも思わず興奮。冬季にはシュークリームや須賀川産リンゴを使った「ヘアップルキャラメルクワッサン」も店頭に並ぶので、冬に訪れる際にはどうぞお見逃しなく。

◎店舗情報

福島県須賀川市諏訪町70-2
電話 024817312082



04 大正二年創業の精肉店が前身

〔やまとり とりみね〕

焼き鳥 とり峰



「映像業界では次の日にも撮影があると『天気まつり』と称して撮影後にお酒を飲む伝統があるんですよ」と話す尾上監督をはじめ、『いだてん』撮影スタッフが須賀川滞在中に何度も足を運んだという大正2年創業の精肉店を前身とする焼き鳥屋。活気がありながらも居心地の良い店内に、この日が初来店となった樋口監督も「雰囲気落ち着いていてセンスの良さを感じる」と興味津々。「ここはね、とにかく肉がおいしいんだよ」と焼き鳥や馬刺し、名物のへとりも揚げて尾上監督がすすめる「これは夢中になるね!家の近所に欲しい!」と樋口監督もすっかり虜に。おいしさだけでなく良心価格にも驚かされる須賀川の名店、ぜひ一度ご来店を。

◎店舗情報

福島県須賀川市本町2-1-3
電話 024817514129

05 庵野監督も虜になる料理と酒

〔すかがわ きっちん あぐり〕

須賀川 Kitchen あぐり



撮影で各地に長期滞在するたびに、行きつけとなるお店を探すという両監督が「ここは間違いない日本トップクラス!」と太鼓判を押す料理店。野菜をはじめ須賀川産の食材をたっぷり使った料理は、尾上監督いわく「ほとんど食べ尽くしているけど、もう何もかもおいしい。庵野秀明もこの野菜料理や卵料理、日本酒をとても気に入ってました」。また近隣の提携日本酒蔵による地酒も揃っており、「その季節の一番いいお酒を出してくれるだけでなく、酒蔵の杜氏さんがみんな若いからか、どのお酒もエッジが立っている感じがする。それも含めてすごく好き」と樋口監督。地元のお客さんとの交流も楽しみながら、須賀川の食の魅力を堪能してみてください。

◎店舗情報

福島県須賀川市中町66フカヤビル2F
電話 024819412454

06 須賀川が誇る、もう一人の円谷

〔つばらやこうきちめもりあるほーる〕

円谷幸吉 メモリアル ホール



円谷英二監督と並んで郷土の英雄として知られる円谷幸吉選手。1964年の東京オリンピッククマロン競技で銅メダルを獲得し、陸上競技では唯一国立競技場に日の丸を掲げた名ランナーの軌跡を紹介する施設。銅メダルをはじめ、レースで着用したシューズなどと並んで、その生涯を伝える数々の展示が、円谷選手の誠実な青年としての人間像を浮かび上がらせる。当時の報道資料や映像を通して、一人のランナーが世の中にもたらした希望の光にぜひ触れてみてください。

◎施設情報

福島県須賀川市牛袋町5 須賀川アリーナ内
電話 024817618111
(公益財団法人須賀川市スポーツ振興協会)

須賀川市は、この地で生まれ育った円谷英二監督が礎を築いた「特撮」を文化として育み、未来に向けて受け継ごうとしています。その歩みは市民みなさんの理解と協力により、永く続いていくものとなります。そうした未来に向けて、特撮や映画の第一線で活躍する方々からメッセージを頂きました。

庵野秀明

監督・プロデューサー
アニメ特撮アーカイブ機構(ATAC)理事長

須賀川特撮アーカイブセンターに遺された特撮プロップ*や現場の資料は、特撮文化の技術と歴史を具体的に研究し、日本の特撮映像の過去から現代を世界に誇り、伝えるための貴重な文化遺産です。アーカイブセンターを訪れる人々にその技巧と魂が受け継がれることにより、特撮映像の未来もそこに存在します。特撮文化を次世代へ継承しようとしている須賀川市の皆様には感謝しかありません。ありがとうございます。

*プロップ＝映画で使われた小道具



Suzuki Toshio

山田洋次

映画監督

大きな期待を寄せて

人間が抱くフィクションやファンタジーを映像化するのが映画であるなら、特撮の表現は映画の王道であると言って過言ではありません。特撮アーカイブセンターという世界にたった一つの文化的施設が須賀川市に誕生することを、日本の映画人のひとりとして心から嬉しく、また誇りに思いつつお祝いを申し上げます。

Yamada Yoji



Anno Hideaki



「特撮」を文化として育み未来に向けて受け継ぐメッセージ

Message for the Future

宮藤官九郎

脚本家

子供の頃に見ていたウルトラマンの格闘シーン。破壊されるビル、団地、踏み潰される車。大人になって改めて見たらミニチュアだと一目瞭然なんだけど、当時は1ミリも疑わず没入して見ていました。なぜあんなに簡単に騙されたんだろう。心の目で見ていたからだと思います。

「いだてん」は、ロケとCGとミニチュアを複合的に組み合わせ撮影したそうです*。ミニチュアって、さすがにバレないか？いいの？ 大河ドラマなのに。壊し、特撮のお世話になると思います。

Kudo Kankuro



*須賀川市内に建てられたオープンセットで撮影されました。

鈴木敏夫

スタジオジブリ
代表取締役プロデューサー

思い立ったら、最後まで必ずやり遂げる。庵野秀明の特徴を一言でいうと、こうなる。しかも、いつだって、ひとりではやらない。いろんな人を道連れにしながら、ゴールまで一気に突っ走る。

かくいうぼくも、巻き込まれた事が多々ある。中でも忘れられないのが、2012年に東京都現代美術館で開催した「特撮博物館」だ。企画はむろん、庵野秀明。今更、経緯についてはゴチャゴチャ言わない。気がついたら、手伝わされていた。おまけに、「巨神兵東京に現わる」という中編映画まで作る羽目に陥った。起きた出来事は、まるで、コーエン兄弟の映画のようだ。どうして、こんな事になってしまったのか？ 庵野が仕掛けた異だから仕方ない。そうこうするうちに、福島でホンモノの特撮博物館を作るといふ噂が聴こえて来た。全ては、あの展示がきっかけだった。あるとき、庵野からこんなメールを貰ったことをよく憶えている。鈴木さんは、ぼくら若者の手伝いをすべきだ。その庵野も去年、還暦を迎えた。庵野がジジイになる日が楽しみだ。

のん

女優・創作あーちすと

特撮映画「ゴジラシリーズ」の4Kデジタルリマスター版の試写を拝見させていただいた際、日本の特撮技術の素晴らしさに圧倒されました。CGがなかった時代に、こんなにもユニークで、クリエイティブに満ち溢れた映像を作れるなんて！ゴジラへの恐怖とゴジラの持つ物悲しさに、グッと胸を打たれました。そして、絵画のような画の連続、美しく配置された人物と空間の構図。かっこいい！もう一度観ないと、と早くも恋しくなっています。

Non

塚越隆行

円谷プロダクション
代表取締役会長兼 CEO

「観ている人に驚きを与え、その驚きを糧に平和や愛を願う優しさを、そして未来に向かう希望を育んでもらいたい。」これは円谷英二監督の言葉です。「観ている人に驚きを与え」るのは、紛れもなく特撮と物語です。それは豊かな土地で育った円谷英二監督が先導した、創造性を主体とする文化であると思います。この文化を継承して行くという須賀川市の活動を応援します。

Tsukagoshi Takayuki

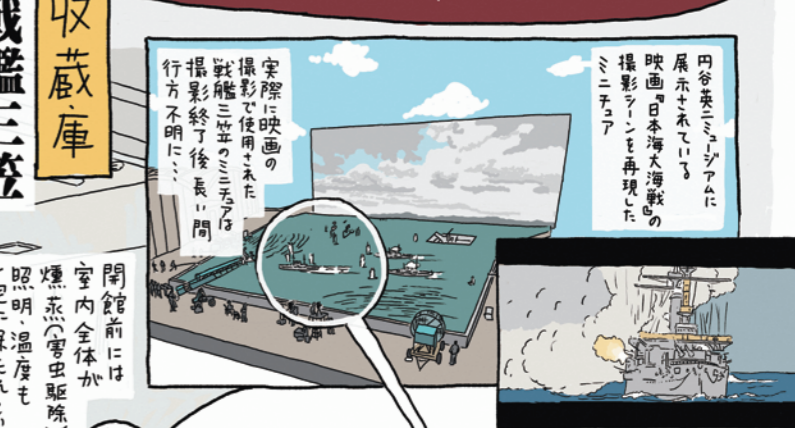
日本の特撮技術の歴史が詰まった「須賀川特撮アーカイブセンター」を、多くの方に楽しんでいただきたいです。



須賀川特撮アーカイブセンター

フムフム取材記

戦艦三笠がアーカイブされるまで



そもそもアーカイブって？
今までは散逸・劣化してほう資料を救出・保管して後世まで引き継ぐための活動！



円谷英二 (1901~1970)
須賀川が生んだ「特撮の神様」

特撮アーカイブセンター

円谷英二監督が礎を築いた特撮技術を後世に伝えるための資料を保管している



視聴覚室

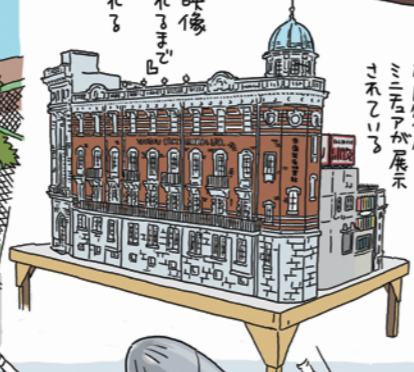
『巨神兵東京に現わる』の上映
収蔵庫で見たばかりの巨神兵が動いている!!



同時上映のメイキング映像
『巨神兵東京に現わる』までは巨神兵のパペットが操られる様子も見られる(大々々)

ミニチュアセット

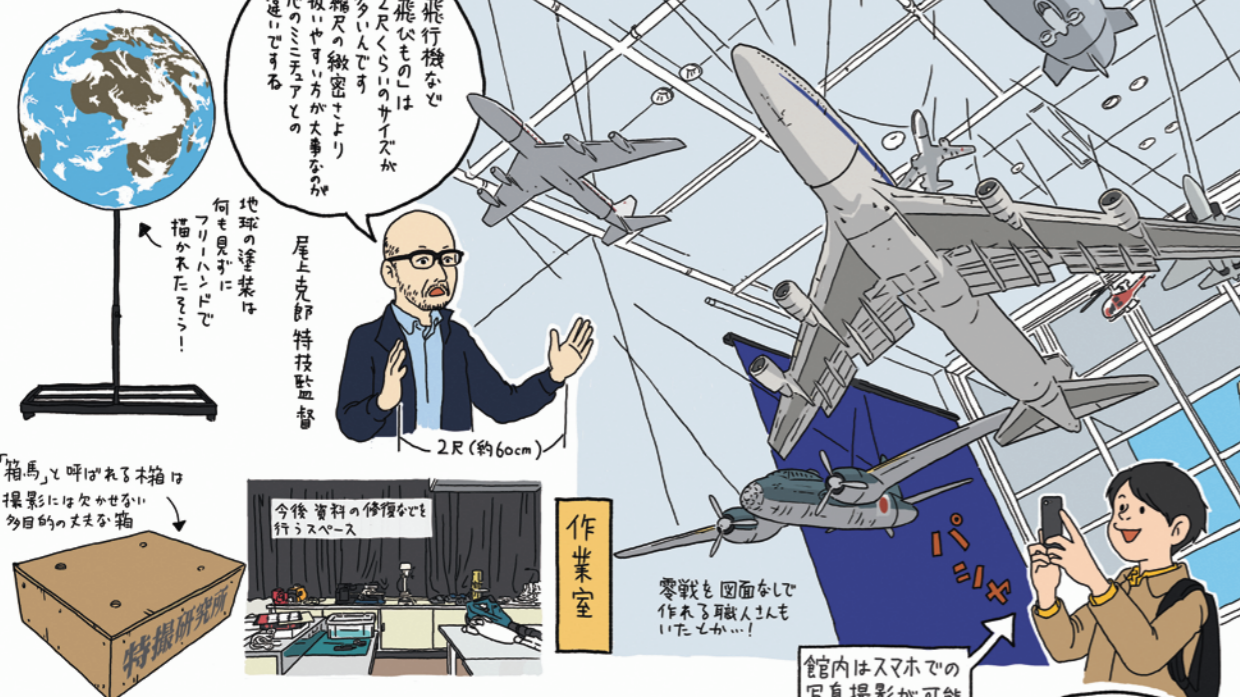
特撮デザイナーの三池敏夫さんによるデザイン
須賀川にありそうな風景をイメージして製作されている



2F

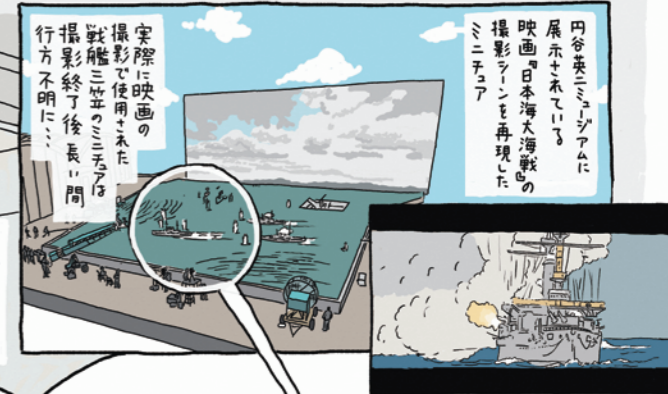
ホール

天井から吊り下げられているのは映画で使用された航空機や戦艦の教習機!



収蔵庫

日本海大海戦(一九〇五)
円谷英二が監督した特撮映画を
終った最後の映画作品で
使用されたミニチュア



Step 1 発見

2015年2月
とある場所の倉庫に保管されていたものを発見し救出!
「特撮博物館」の熊本巡回展で展示されることに。

Step 2 調査

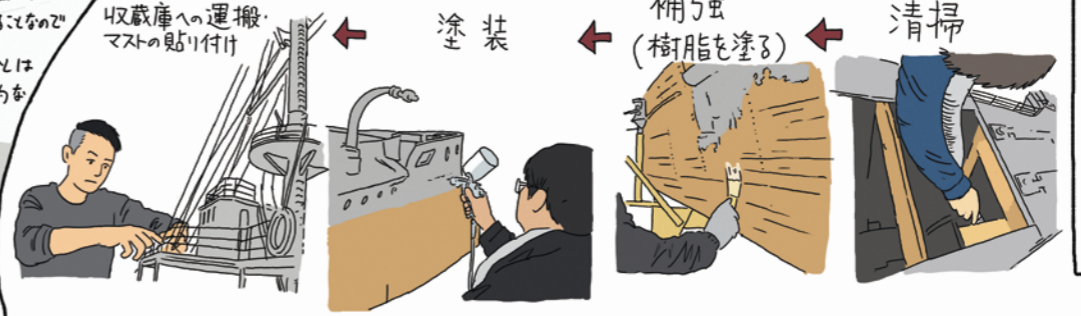
2016~
熊本での展示が終了した後須賀川へ移送され調査開始。
状態を確認したり当時の資料を参照し、関係者への聞き取りなどを行う。

Step 4 保管

2017~
第一の目的は保管することです。見せることは副次的なもの。

Step 3 修復

2017~
2020
できるだけ製作当時の状態に近づける方向で修復すること。



何故アーカイブするの?
映像作品に使用された一次資料は撮影が終了すると廃棄されたり散逸してしまうことが多く、その技術を後世に伝えることが困難になってしまいます。
特撮アーカイブセンターではその資料を修復・保管し、その記録を残すことで特撮技術の価値や魅力を後世に伝えようとしています。



図書室



アーカイブセンターを訪れた人のなかから第二の円谷英二監督が誕生するかも...



INFORMATION

- 開館時間 午前9時~午後5時
- 休館日 火曜日(祝日の場合翌平日) 年末年始
- 入館料 無料

過去と未来

記録や資料を保存するアーカイブには「過去」を遺すだけでなく、「未来」をつくる力もあります。須賀川特撮アーカイブセンターは、どんな未来を須賀川にもたらすことができるのか？ 文化教育と脳科学の分野で活躍する2人に聞いてみました。

——教育の場では、文化資料のアーカイブはどのように活用されていますか？

創作（クリエイション）はゼロから生まれると思われがちですが、天の啓示を受けて斬新なアイデアがひらめくのは一部の天才だけです。創作を学ぶ学生の場合、過去の作品にいかにかくさん触れるかが大事で、そこから得たものが自分の中に蓄積されたときに大きく成長します。この成長のための基礎をつくるのが教育だと私は考えているのですが、その中でアーカイブはとても大きな威力を発揮します。須賀川特撮アーカイブセンターに保存されているような、作品がつけられた過程にも触れられる資料は「先人たちはこうしていたけれど、それにならったうえで自分はどうしてみよう」といった形で学生たちの思考プロセスに役立ちますし、新しい表現を生む基礎にもなります。価値が次世代に引き継がれると同時に、新しい表現や価値も生まれていくので、アーカイブと教育機関が連携す

岡本美津子

特撮文化を通して「世界の須賀川」へ

することは、ひとつの理想の形です。さらに活用の仕方によっては、地域の未来につながる資源にもなりえます。

——たとえばどのような方法でしょうか？

ひとつあるのは、アーカイブを活用したワークショップを開催する手法で、これは効果が大きいと思います。海外ではイベントなど様々な機会にワークショップを実施するというケースがよく見られ、映画、映像分野でのワークショップも充実していて、制作を学んでいる人だけでなく、評論家や映画ファンといった人までもが参加者として世界中から集まっています。須賀川で特撮監督を目指す人たちを対象としたワークショップを開催すれば国内外から人が集まり、地域の観光業が賑わうという二次的な効果もあります。また須賀川市民を対象としたワークショップでも、まさに根付く特撮への想いや心といった形を持たない文化が継承される場となるので、プロ向けから子ども向けまで、幅広いレ



ベルのワークショップが行われるのが理想だと思います。様々な人と人とのつながりや、人が訪れるきっかけをつくることも文化施設の役割のひとつです。いまはコロナ禍によって人が集まるのが難しい状況ですが、オンラインでの開催であっても生まれるものがあるはず。特撮という文化が根付く場所には世界中でも須賀川しかありません。それは国内だけでなく、海外の人にとっても非常に魅力的に映ることでしょう。その点ももっと自信をもつべきだと思います。特撮や映像の専門家が海外からも集まるきっかけをつくり、須賀川が「世界の須賀川」となることをぜひ目指してほしいですね。

私にとっての「特撮」

私の専門である映像分野でいえば、特撮は創意工夫の宝庫です。現代のようなCGがない時代に、怪獣の大きさやスケール感を映像で伝えるために創意工夫をこらしながら撮影をしてきた人たちのクリエイティブ魂から受ける刺激は大きいです。

中野信子

脳科学者、医学博士、認知科学者

「実物」だけが持つ情報量の多さに再着目を

変地異が起これば、自分ばかりでなく、大切な家族や、仲間たちを一瞬のうちに失ってしまうかもしれない。生き延びるために、自らを取り巻く環境の不自然さは精度良く検知する必要があります。アーカイブセンターにある島倉二千六さんによる特撮の背景画は、経験知をもとに描かれています。シミュレーション技術が脳の働きに追いついていない現状では、島倉さんの経験知に代表されるような経験知がCG技術よりも勝っている場合があります。

——現物の資料を保存しようとする須賀川特撮アーカイブセンターの取り組みは、中野さんの目にどう映りますか？

実際にある物から脳が得る情報量と、デジタルのデータで残せる情報量の差は歴然です。現代人は視覚優先で物事を捉えがちですが、進化した長い歴史を持つのはむしろ触感やにおいであり、脳にこれらが与える影響は無視できません。研究は常に事実の後追いですが、データから触感や質感を現実と同じよ



——CG映像よりも、特撮技術を使って撮影された映像のほうがリアルに感じられることがあるのはなぜでしょうか？

水や雲といった流体を表現したCG映像を見たとき、不自然さを感じる事がまだ多いと言われます。原因のひとつは流体のシミュレーションが難しく、まだ数学的には不完全だからです。

では、なぜ実際に見たことがないはずの現象のCGでも、私たちの脳は違和感を持つのか？ これは脳における視覚情報処理の驚くべき解像度の高さ故です。

たとえば顔の表情を対象にした場合、マイクロ・エクスペレッションと呼ばれる細かな筋肉や視線の動きを脳は慎重に捉えています。口は笑っていても、目の周りの筋肉が動いていないと反射的に「作り笑いでは？」と感じるのはこのためです。水や雲の動きも、「単なる景色」ではなく、人間にとってはコミュニケーションをはるかに上回る重大さで、長らく生死に直結する問題でした。ひとたび天



私にとっての「特撮」

公害問題や就職氷河期を体験した団塊ジュニアとしては「核の落とし子」であり、社会に認められない存在であるゴジラに「君の悲しみはわかるよ…」と共感を覚えずにはいられません。体が反応するような重低音の映画音楽も含めて『ゴジラ』は名作だと思います。

うに再現できるほどの技術もまだ開発されていません。万が一の事態に備えて、現在の技術を使ったデジタルアーカイブの試みは前向きに捉えたいと思いますが、「データで残せるから物はいらない」という考え方は2021年の現状ではナンセンスだと考えています。私は、須賀川特撮アーカイブセンターのように物を残そうとする取り組みには賛成です。

アーカイブセンターの収蔵庫を見て思い出したのが、実験用の機械を試行錯誤しながら作りしていた工学部の研究室です。シミュレーションだけで実験を済ませるといふ研究手法もありますが、そういった手法の難点は、セレンディビティを得にくいということでしょう。実際に手を動かすことが、予想外の新しい発見の可能性を高める。ノーベル化学賞を受賞した田中耕一さんの研究が好例でしょう。私自身も忘れかけていたことを収蔵庫の景色に気づかされましたね。

今もなお須賀川に灯る
光の輪「二人の円谷」



県立須賀川高校内にある円谷幸吉の像。首にはマラソン大会で入賞した生徒が取ったメダル。こうして「報告」するのが伝統になっているそう。偉大な先輩への尊敬は今も脈々とつながっている。(撮影：阿部章夫)

1960年代、「二人の円谷」の活躍が日本中を熱狂させました。

一人は「特撮の神様」こと円谷英二監督。

もう一人は、1964年の東京五輪で

銅メダルを獲得し、当時低迷していた

日本陸上界の救世主となった円谷幸吉選手です。

ともに須賀川で生まれ育った「二人の円谷」が

残した足跡と、彼らの志を受け継ぐ人々を紹介しします。

円谷幸吉 Kokichi

つぶらや・こうきち
1940年須賀川市大町生まれ。



足腰を鍛えた鍋師橋坂

須賀川の中心市街地に向かって上る鍋師橋坂の途中にあった幸吉の生家。本格的に走る練習を始めた幸吉は、兄たちと一緒にこの坂を走りました。当時の練習コースの近くには、現在「円谷幸吉メモリアルパーク」があります。

自分で練習法を研究

自衛隊入隊当初、幸吉は自分で練習法を研究していました。五輪選手を育成する自衛隊体育学校に入学し、コーチから指導を受けられるようになってからも研究を続け、良いと思った方法は自ら進んで取り入れていました。

記録更新のために挑戦したマラソン

1万メートル種目の選手として東京五輪出場が決まっていた幸吉。より長い距離を走れば記録を伸ばせるのではないかと考え、1964年3月に初マラソンに挑戦します。その直後に出場した毎日マラソンで2位の成績をおさめ、マラソン種目でも東京五輪に出場することになったのです。

当時の高校生よりも小柄な体

1964年の東京五輪出場時に24歳だった幸吉の身長は163cmで、足のサイズは25cm。当時の高校生男子の平均身長(166.4cm)と比べても小柄な体格でした。

文部科学省「学校保健統計調査」参考

日本特撮の神様

円谷英二 Eiji

つぶらや・えいじ
1901年須賀川市中町生まれ。

長松院の大銀杏

幼い頃から飛行機乗り憧れていた英二は、長松院の銀杏の木に登っては空を見上げ、いつか自分も飛行機で空を飛びたいと夢をさせていました。

少年の頃から絵の才能を発揮

祖母が改装してくれた土蔵の2階の部屋で模型作りや機械いじりに没頭していた少年時代の英二。尋常高等小学校の頃には『友人』と題した絵文集を作成し、友だちと一緒に書いた物語に英二が挿絵を寄せていました。

発明家としての才能も

手先が器用でアイデアマンだった英二。玩具会社のアルバイトをしていた頃には、さまざまなヒット商品を考案。映画の制作から離れていた時代には、現在の証明写真ボックスとほぼ同じ仕組みの「自動撮影機」も開発していました。

仕事に厳しく、子どもにやさしく

映画制作に関して徹底的にこだわった英二は、映画でもテレビでも、満足できる作品ができるまで何度も撮り直しを命じていました。しかし子どもにはやさしく、スタッフの子どもが友だちと撮影所を訪れた際に、英二自ら子どもたちを案内したというエピソードも。

物作りの楽しさを実感できる特撮

綿などの身近な素材を使って、特撮の雲海セット作りを体験できるワークショップを須賀川で開催している特撮美術監督の三池敏夫さん。「綿で雲を表現するのは、古典的な特撮技術のひとつ。ワークショップに参加する子どもたちはCG世代というのもあって、みんな最初はきょとんとした表情をしている。でも個々に作った綿雲を大きなセットにまとめ、ビデオカメラで撮った映像をモニターに映した瞬間、目がキラキラと輝き始めて夢中になるんですよ」と三池監督。ワークショップの魅力について質問すると「特撮に限らず物作りの基本は、自分の手を動かしながらゼロから何かを生み出すこと。この楽しさを実感できることだと思っています。CGなどの技術革新によって特撮は使われなくなりつつある技術ですが、消えてしまっていないものだと考えています。映像やCGを学ぶ人でも、アナログな特撮の技術を体験することで得られるものがあるはずですよ。僕や特撮関係者にとって第二の故郷となりつつある須賀川で、特撮の火を灯し続けられたらうれしいですね。」



©円谷プロ

走る楽しさを伝える須賀川の星

「第一の円谷幸吉育成」を目指して発足された陸上クラブ、円谷ランナーズ。メンバーに円谷選手について聞くと「小4で入団したときに円谷選手のことを知って、須賀川出身と聞いたときは驚きました。世界で活躍した選手が身近にいることは刺激になります。(岩崎聖奈さん・中3)」「僕が知ったのは小2で円谷幸吉メモリアルマラソン大会に出場したとき。須賀川からメダリストが出たというのは本当にすごいこと。自分もいつか世界の舞台で活躍したいです。(吉田翔真さん・中3)」という返事が。相澤晃選手(旭化成/第104回日本陸上競技選手権大会・男子1万メートル優勝)をはじめ、第一線で活躍するクラブの先輩たちと同じように、円谷選手が今も憧れのランナーであり続けていることが伝わってきます。「悲劇のランナー」の印象が強い円谷選手ですが、楽しさを感じながら走っていたと僕は思います」と話すのはクラブ代表を務める水野武さん。「長く走るスポーツは苦しいだけではないです。畠野洋夫コーチと活動していた頃の円谷選手の写真を見ると心から楽しそうな表情をしている。円谷ランナーズ出身の選手たちが活躍することで、円谷選手笑顔にも光が当たってほしいですね。」





SUKAGAWA CITY MAP

好きです わたしの すかがわ

ポーター

特撮と二人の円谷 街巡り



① 須賀川駅
須賀川の鉄道の玄関、須賀川駅には力強いウルトラマンのモニュメントが堂々と建っている。モニュメント脇の看板にある円谷英二のサインがかわいいで必見。

② ウルトラマンモニュメント
ウルトラマンモニュメントは全部で14体。街路灯の怪獣シルエットはどれも違うシルエットになっていて全部で79種類もある。

③ 須賀川市役所
一般の人も入れる展望台があり、地上45mから遠く福島空港や会津の山々まで見渡せる。実はこの高さはウルトラの父の目の高さになっており、市役所入口にはウルトラの父のモニュメントも建っている。

④ 円谷英二生誕地碑
円谷英二の生家跡には記念碑が建っている。須賀川市内のいくつかの郵便局では窓口でお願いするとオリジナルの風景印が押されるが、記念碑近くの中野郵便局ではウルトラマンタロウの風景印が押してもらえる。

⑤ tette 円谷英二ミュージアム
須賀川の中心部に位置する市民交流センターtette(てって)には図書館やこどもセンター、カフェなどがあり、子どもから大人まで楽しめる施設。図書館の蔵書はともにも充実している。円谷英二ミュージアムは5階にある。

⑥ 須賀川市立博物館
縄文時代から始まる須賀川の歴史をジオラマや古地図などで知ることができる。須賀川出身で江戸時代後期に活躍した絵師 重政堂田喜(あおうどうでんぜん)の展示もあり、銅版画などが見られる。

⑦ 円谷幸吉メモリアルパーク
円谷幸吉の生家近くには、2020年に整備された円谷幸吉メモリアルパークがある。ベンチが整備され、円谷幸吉メモリアルマラソン大会のコースにもなっている。隣には円谷家とも親交のあった和菓子店「玉木屋本舗」で「幸吉餅」も販売しており、散策の途中に買って公園で食べるのも良いだろう。

⑧ 須賀川特撮アーカイブセンター
特撮で使われたミニチュアなど貴重な資料が保管された施設。実際の撮影で使われた実物を見られるのは世界でもここだけ。須賀川駅からバスが出ているが本数が少ないため車での来訪が便利だ。

⑨ 円谷幸吉メモリアルホール
須賀川IC近くの須賀川アリーナ内にあり、幸吉が1964年の東京五輪で実際に履いたシューズや銅メダルなど数々の貴重な記念品や資料が展示されている。

⑩ 福島空港
北海道や関西から須賀川への来訪は飛行機でのアクセスがとても便利。空港にはウルトラマン関連の展示も多く、東北初のウルトラマンオフィシャルショップもある。

須賀川事典

と特撮編

発行人：須賀川市企画政策部企画政策課
 監修：尾上克郎
 企画・編集・制作：森ビル株式会社
 アートディレクション・デザイン：大岡寛典事務所
 テキスト：林みき
 写真：ただ(ゆかい) (P2-3, 6-11)
 表紙・マンガ・イラスト：かつしかけいた
 イラストマップ：武者小路晶子 (P20)
 発行：2021年3月

須賀川市へのアクセス

車	列車	飛行機
車で来られる方へ (高速道路利用の場合)	列車で来られる方へ	飛行機で来られる方へ
東京方面から 約2時間30分 (浦和IC→須賀川IC)	東京～須賀川駅 約1時間40分 (東北新幹線郡山駅乗り換え)	札幌～福島空港 約1時間20分
仙台方面から 約1時間30分 (仙台南IC→須賀川IC)	仙台～須賀川駅 約1時間 (東北新幹線郡山駅乗り換え)	大阪～福島空港 約1時間10分
新潟方面から 約2時間 (新潟中央IC→須賀川IC)	郡山～須賀川駅 約10分 (東北本線)	